

## 看板も SDGs の時代 「下町ボブスレー」PR にエコマーク取得の「LUFAS®」採用 ～大田区から世界へ 技術力の結集をアピール～

東日印刷株式会社（本社：東京都江東区〈<https://tonichi-printing.co.jp/>〉）とグループ企業の株式会社トライ（東京都江東区〈<https://try-or.com/>〉）が製造・販売している100%ペットボトル再生布を使ったファブリックサイネージ「LUFAS®（ルーファス）」が、「下町ボブスレー」プロジェクト（委員長・黒坂浩太郎三陽機械製作所代表取締役）のPR 看板に採用されました。今後、プロジェクトのイベントや広報活動などで活用されます。



下町ボブスレープロジェクトは、大田区の町工場が中心となって、冬季五輪やワールドカップなどに挑戦。「世界最速」のソリを作り、産業のまち・大田区のモノづくりの力を世界に発信しようというプロジェクトです。近く始まる2023-2024シーズンでは、昨年引き続きイタリア代表のバリオラ・マッティア選手が乗ってワールドカップにフル参戦するほか、新たにフランス代表選手も使用予定です。2026年のイタリア冬季五輪を前に、今季を準備の最終段階となる重要なシーズンと位置付け、プロジェクトを展開しています。

ルーファスが採用されたのは、プロジェクトの広報活動のほか、スポンサーなど支援者の方々に下町ボブスレーの魅力を伝える各種イベントのPR看板。「挑戦は止まらない。」の合言葉の下に、迫力ある下町ボブスレーの写真が入り、車体が浮き出たようにも見えます。この迫力あるサイネージが、分解してゴルフバッグ大のケースで運べるうえ、会場で簡単に組み立てられる▽印刷面にペットボトル100%リサイクル布、フレームにも再生アルミを50%以上使用していることなどから、ファブリックサイネージとして日本で唯一エコマークを取得しており、内閣府から2023年度の「SDGs 未来都市」に選定された大田区の取り組みとも合致——という理由で、採用に至りました。

東日印刷グループは「環境・SDGs 推進宣言」を策定し、“世の中の看板をすべて環境にやさしい布製看板に”という思いでルーファスをご提案しております。今後も、あらゆるお客様のニーズにご対応できるよう真摯に取り組んでまいります。

## TONICHI

今年で創業71年。毎日新聞グループの中核新聞印刷会社で、輪転機10セットを備える本社工場は世界最大級。傘下の関連会社を含め関東・福島に6工場23セットを保有し、日刊紙や各種専門紙など約40紙を制作・印刷している。近年は電照布看板の印刷やデジタル事業(名刺管理ソフト)などの新規事業を積極的に展開。グループ経営理念は「顧客に信頼される会社でありたい 社員の誇りとなる会社でありたい 地域で親しまれる会社でありたい」グループ会社方針は「最高の品質と最高のサービス」。

〈本件に関するお問合せ〉

東日印刷株式会社 プロモーション本部

<https://tonichi-printing.co.jp/inquiry.html>

※「東日印刷 お問い合わせ」で検索ください